

エンジニアリングデザインコース（修士課程）

アドミッション・ポリシー（求める人材像と求める力）

エンジニアリングデザインコースは6つの系に関係するため、それぞれの系のアドミッション・ポリシー（求める人材像と求める力）を掲載しております。

【機械系】

機械系では、次のような人材を求めます。

- ・ 機械工学の専門を活かして社会貢献を行う志を有する人
- ・ 機械工学を主とする工学の基礎学力を有し、それらに基づいて論理的に思考し、表現できる人
- ・ 豊かで幅広い知識を有し、様々な視点から柔軟にものごとを捉えることができる人
- ・ 国際的な視野から工学研究・技術開発を進めるために必要な語学力・文書化能力を有する人
- ・ 機械工学における未知の研究領域に興味を持ち、果敢に挑戦する旺盛な研究意欲を有する人

【システム制御系】

システム制御系では、次のような人材を求めます。

- ・ システム制御工学の専門を活かして社会貢献を行う志を有する人
- ・ システム制御工学を主とする工学の基礎学力を有し、それらに基づいて論理的に思考し、表現できる人
- ・ 豊かで幅広い知識を有し、様々な視点から柔軟にものごとを捉えることができる人
- ・ 国際的な視野から工学研究・技術開発を進めるために必要な語学力・文書化能力を有する人
- ・ システム制御工学における未知の研究領域に興味を持ち、果敢に挑戦する旺盛な研究意欲を有する人

【経営工学系】

経営工学系では、次のような人材を求めます。

- ・ 経営工学の専門を活かして社会貢献を行う志を有する人
- ・ 経営工学を主とする工学ならびに人文社会科学の基礎学力を有し、それらに基づいて論理的に思考し、他者と意思疎通をできるコミュニケーション力を備えた人
- ・ 豊かで幅広い知識を有し、様々な視点から柔軟にものごとを捉えることができる人
- ・ 国際的な視野から工学研究・技術開発を進めるために必要な語学力・文書化能力を有する人
- ・ 経営工学における未知の研究領域に興味を持ち、果敢に挑戦する旺盛な研究意欲を有する人

エンジニアリングデザインコース（修士課程）

アドミッション・ポリシー（求める人材像と求める力）

【建築学系】

建築学系では、次のような人材を求めます。

- 建築学および都市・環境において全般的な基礎学力と専門領域の学力を有すること
- 多面的な捉え方、論理的な思考、創造、表現ができること
- 未知の領域に興味を持ち、挑戦する気概、積極的な研究意欲を有すること
- 建築および都市・環境を取り巻く世界を理解し、専門知識を生かし、社会の発展に貢献する志を有すること
- 国際的に研究活動や創作活動を行うための基礎的な語学力を有していること

【土木・環境工学系】

土木・環境工学系では、次のような方々を求めます。

- 理工系基礎学力を有し、論理的かつ多面的な発想ができること
- 土木技術や社会基盤、都市、環境に関連する幅広い知識を有し、積極的に学び研究する意欲を有すること
- 国際的な視野から研究開発を進めるために必要な語学力を有していること
- 土木・環境工学の知見を活かし、安全で環境に調和した社会の形成に貢献する高い志を有すること

【融合理工学系】

融合理工学系では、次のような方々を求めます。

- 国際社会が抱える問題や地域社会の問題に興味を持ち、それを解決するための高度な学問を学ぶ意欲を有すること
- 自分の得意分野を極める意欲と関連分野を広く学ぼうとする柔軟性を併せ持つこと
- 高度な融合理工学を修得するための基礎的な学力が十分であること
- 国際的なコミュニケーション力、マネジメント力、協働力の基礎ができていること

エンジニアリングデザインコース（修士課程）

アドミッション・ポリシー（入学者選抜方針）

エンジニアリングデザインコースは6つの系に関係するため、それぞれの系のアドミッション・ポリシー（入学者選抜方針）を掲載しております。

【機械系】

機械系の専門に関する学力、英語による語学力、適性などについて、面接形式の試問、筆答試験などにより、機械系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。

【システム制御系】

システム制御系の専門に関する学力、英語による語学力、適性などについて、面接形式の試問、筆答試験などにより、システム制御系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。

【経営工学系】

経営工学系の専門に関する学力、英語による語学力、適性などについて、面接形式の試問、筆答試験などにより、経営工学系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。

【建築学系】

建築学系の専門に関する学力、英語による語学力、適性などについて、面接形式の試問、筆答試験などにより、建築学系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。

【土木・環境工学系】

土木・環境工学系の専門に関する学力、英語による語学力、適性などについて、面接形式の試問、筆答試験などにより、土木・環境工学系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。

【融合理工学系】

融合理工学系の専門に関する学力、英語による語学力、適性などについて、面接形式の試問、筆答試験などにより、融合理工学系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。

エンジニアリングデザインコース（修士課程）

カリキュラム・ポリシー（教育内容）

本コースでは、「ディグリー・ポリシー（修得する力）」を身につけるために、次のような内容の学修を行う。

A) デザイン思考実践の学修

主にPBL（project based learning）形式で、エンジニアリングデザインのプロセスを実践的に学修する

B) オフキャンパスでのプロジェクト学修

学生が主体的に企画し、実践したキャンパス外での実践を通してエンジニアリングデザインを学修する

C) デザイン理論の学修

エンジニアリングデザインおよびその周辺の学問領域について理論的な学修を行う

D) 人工物デザインの学修

工学分野におけるデザインおよびエンジニアリングデザインの基礎となる工学を学修する

E) 社会システムデザインの学修

ソフトウェア・サービス・システム・社会等に関するエンジニアリングデザインについて学修する

F) 人間・環境系デザインの学修

ユーザ中心デザインやユーザ体験デザインなど人と密接に関わるエンジニアリングデザイン、ならびにエンジニアリングデザインに必要なヒトに関する工学について学修する

G) 修士論文研究にかかる学修

修士論文研究に則したセミナー・論文講読等を通じて、修士論文研究に関する学修を行う

ディグリー・ポリシー（修得する力）

本コースでは、次のような力を修得することができる。

- ・ 科学・技術の専門家として活躍できる知識・理解力・論理的思考力
- ・ エンジニアリングデザインに必要な基礎的表現スキル
- ・ 研究・技術開発に必要な専門知識を継続的に学ぶことのできる自己研鑽力
- ・ 研究・技術開発を進めるために必要なコミュニケーション力
- ・ デザインを理解するエンジニアとして研究開発とデザインをファシリテートする能力